

発行所 全日本建設交運一般労働組合  
 栃木県本部 〒327-0315  
 栃木県佐野市吉水駅前1-2-1  
 0283-62-7312 fax 0283-62-7318  
 http://www.kenkourou.or.jp/  
 E-mail: DQJ06744@nifty.com

# とちぎ ぎの建交労

## 請要署名提出に消極的姿勢 荷主情報に

五月十八日、全国ダンブ部会はダンブ・建設労働者の労働条件改善を求め、国土交通省に要請を行いました。栃木支部で集めた大臣署名四百四十筆も提出しました。

国土交通省は二〇二〇年までに過積載車両を半減させる目標を掲げています。

その具体策として、高速道路などで検挙した運転手から荷主情報を聴取し、荷主に過積載防止を指導するとしています。受け取る側にたいする対策が重要であるという認識は組合と一致しています。

当日ダンブ部会は、都内で過積載車両を受け取っている業者の写真を示し、荷主指導を求めました。

ところが、国土交通省は組合からの荷主情報には受け入れない姿勢に終始しました。

検挙現場で運転手に荷主情報を求めるのは非現実的です。

昨年国会で国土交通大臣は、過積載の背景には低単価問題があると明言しています。しかし国は、末端の業者、労働者に責任を押し付け、本気にならずに改善しようとしています。

国土交通省の姿勢を追及するとともに、組合の要請を拒否する警視庁への取り組みも重要になっていきます。

今年も県税から自動車税の通知が来ました。私の乗用車は税額3万4500円(1300CC)、ところが今年から3万9600円と5100円増税です。

通知によれば「自動車グリーン税制」により「地球温暖化防止と大気汚染防止の観点」から「新車登録から一定の年数が経過した環境負荷の大きい自動車については、税率が重くなります」ということとなります。

ガソリン車の場合平成十七年三月三十一日までに新車登録された車は約十五%税率が重くなっています。

私の車は平成十六年登録なので今年から増税の対象になったようですが・・・。

### 自動車税払わん①

全然納得できないです。

車はエコカー減税の対象にもなったホンダのフィット、現行のエコカー減税基準と同じ「平成十七年排ガス規制値75%低減車」で

す。燃費もいまのエコカーと遜色ないレベルです。

いつのまに「環境負荷の大きい自動車」に变身したのか。

五月某日、県税事務所に行きました。

私「納得できないので銀行引き落としをやめたい。本税分だけ払う」

窓口の人「・・・国が決めたことですから私「払わないいたら払わない」

窓口の人「・・・上の人と相談してきます」

(つづく)(Y)

## 交通安全推進 道路点検活動

道路を職場にするプロドライバーは、一般のドライバーとは違う視点で危険個所を感知しています。

組合では過去三回にわたり道路点検活動に取り組み、道路管理者



岩舟町「とちぎ花センター」から南下し50号バイパスを渡った藤岡町地内の農道。路面の凹凸が激しく対向車がない場合、センターラインをはみ出して走行。



この花壇スペースのこと

佐野市中町地内の県道、藤坂砕石工場に向かうT字路交差点。交差点が狭く左折が厳しい。スクールゾーンにもなっておりトレーラーダンプの増加等、左折巻き込み事故対策が必要。左側の「花壇スペース」撤去で拡幅が可能では。

や警察に提言し様々な改善を実現しました。今年第四回の道路点検活動を行います。

公道上での危険な箇所や規制など、ご意見を寄せてください。

日ごろ走行している

## 組合健康診断会 参加者増に対応

五月十三日、恒例の健康診断会を開催しました。

年々参加者が増え、組合事務所では限界になったため、今年からはじめて事務所近くの「吉水コミュニケーションセンター」で開催し、四十四人が参加しました。

初めて参加した組合員大澤康宏さん「注射(採血)が怖くて避けてました。でもやっぱり年一回はやったほうがいいと思って勇気を振り絞って参加しました。来年も参加します(多分)」。



広々とした会場で好評でした。70名程度まで可能か。

五月二十一日、安足地域労連として足利市に要請を行いました。要請は住民の安心安全に関わるものや市内で働く労働者の労働条件など、幅広い内容です。佐野市への要請も後日予定しています。



# 重大事故続出「人じゃなきゃ！」

各地でダンプの重大事故が続出しています。今後、運転者の高齢化、人手不足などにより、ダンプの重大事故はさらに増えることが予測されています。

乗用車は、自動追突防止装置など車両の安全対策が向上し事故件数は減っています。

本来事故被害の大きな大型車こそ、国自動車メーカーの責任で乗用車以上の安全対策を義務化すべきであり、その費用はメーカーが負担すべきです。事故防止技術は相当進んでいます。



納車2日目の新車で吉野家に突入。交差点で曲がり切れなかったとか。運転者は69歳。新車のエンジンに反応できなかった？



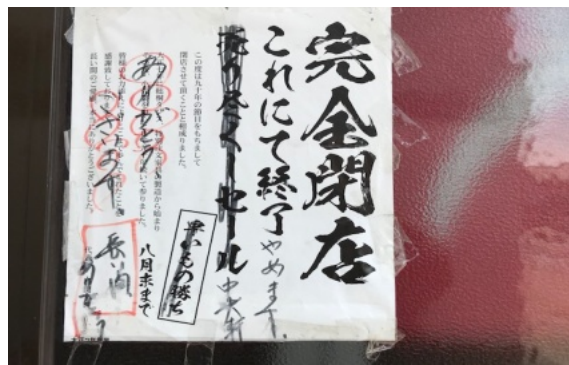
テレビ報道された転落寸前事故。ダンプの過失はほぼゼロ。



トレーラーダンプに追突した組合員。2時間後救出されるが右足切断の重傷。(労災加入者)

## 佐野ラーメン放浪記(番外編)

【さよなら中央軒(葛生町)】



家具屋の廃業チラシを活用。さすが中央軒！



葛生町の盛衰を見てきた渋い店舗

葛生町の中央軒が八〇年の歴史に幕を閉じました。葛生町は江戸時代から日本有数の石灰産地として栄え、戦後は国土の復興に大きな役割を果たしてきました。

中央軒は全国から集まる鉱山労働者に「支那そば」を提供、仕事帰りの男たちが一杯やる憩いの場でもありました。一説には寸胴鍋に穴が開いたとか。くろくろさまでした。

## 「お金を貯めると病気になります」



毎朝お経を唱えて運転開始。熱心な仏教徒でもあります。

1951年サンフランシスコ講和条約でスリランカ(当時セイロン)代表は、日本の主権を擁護し賠償請求を放棄しました。ソ連の日本分割統治案にたいして大きな影響を与えたと言われています。

そのスリランカから来日し、車もダンプ労働者としてがんばっているのがナンディカさん(39歳)。

スリランカからイギリスの大学に留学したエリートです。5年前に来日し日本人と結婚当初は工場で働きましたが外国人にたいする偏見を感じて退社、より高収入を求めて運転免許の取得にチャレンジします。

「工場で働いているときにクレーンの免許をとりました。運転免許は試験場で取りました。大型5回、けん引は一回で取れました。ハローワークでダンプの仕事を探しました。二年前から自分でダンプを買って仕事をしています」

「2年に一回お母さんを目に呼んで人間ドッグを受けてもらっています。お金は大変だけどお母さんの健康が一番大事」

「運転中はインターネットラジオでスリランカの放送を聞いています。むこうの放送局は一晩中お経を流しています」「お金を貯めると病気になります。いつ死ぬかわからないからみんなで分ける。」

日本人の多くが病気になるかもしれません。

【組合員紹介】 NAITO-HIROKI 2420-KA 2-COINZ DU 43-01K2